

○事業所名	きりん教室 なると		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・親子でゆっくりできる環境を整えている。	・園庭や待合室などで、時間にゆとりをもって対応できるようにしている。	・待合室を保護者も過ごしやすいよう環境を整える。 ・気持ちを落ち着かせられる空間を整える。
2	・個々に合わせた活動や課題の提供をしている。	・標準化された検査等を活用し、それぞれの特性を客観的に捉え、行動観察や保護者からの聞き取り、本人の意向等を含め現状と課題について検討するようにしている。	・職種間連携をさらに強化し、どのお子さまにも各職種の視点が入るようにしていきたい。
3	・多職種が連携しサービスを提供している。	・相談内容を職員間で共有をし、多方面からのアドバイスを基に保護者の不安軽減に繋げている。	・サービスの質を上げられるように、職種間での話し合いの場を増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流の機会が少ない。	・活用できる地域資源が少ない。	・地域との交流をテーマに職員間で協議する時間を定期的にとる。 ・地域資源の再確認を行う。
2	・活動スペースの利用の仕方	・検査等による個室使用への配慮が上手く出来ていない時がある。 ・視覚、聴覚過敏のあるお子さまへの配慮が十分ではない。	・防音化カーテンを取り入れる等、環境整備を行う、話し合う。 ・職員間での情報共有や朝礼などを活用して時間ごとの活動の流れを話し合う機会を増やしていく。
3			

事業所名 きりん教室なると

公表日 令和8年4月1日

利用児童数 54人

回収数 33枚

有効回答数 33枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	90.9%	6.1%	0.0%	3.0%	・施設自体は小学生にとって少し狭いと思う時もありますが、園庭などを活用して下さっているので楽しめていると思います。	・基準は満たしているが、今後も活動に 応じて室内の使い方を工夫していくよう にする。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。※基準の人数又は 基準以上の配置を行っております。	90.9%	3.0%	3.0%	3.0%		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1 参照）になっていると思いますか。また、事業所の設備等 は、発達の状態に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への 配慮が適切になされていると思いますか。	90.9%	3.0%	0.0%	6.1%	・学習する場所と運動する場所がわかりや すくていいと思います。	・お子さまにとって分かりやすい環境に なるように環境設定していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると 思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっ ていると思いますか。	81.8%	6.1%	3.0%	9.1%	・平屋で見渡しが良いので、安全ではあり ますが、一人でクールダウンしたい時の場 所があれば、もっと落ち着き安心でき ると、子どもが喜んでいます。	・お子さまの気持ちに寄り添えられるよ うな、パーテーションやコーナー分け するなど、環境づくりに努めていく。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの様子等に応じた専門 性のある支援が受けられていると思いますか。	97.0%	0.0%	0.0%	3.0%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する 支援内容と合っていると思いますか。	90.9%	0.0%	0.0%	9.1%		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題 が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている と思いますか。	97.0%	3.0%	0.0%	0.0%		
	8 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達 支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、 「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目 が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定され ていると思いますか。	93.9%	3.0%	0.0%	3.0%		
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	93.9%	0.0%	0.0%	6.1%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されてい ると思いますか。	87.9%	3.0%	0.0%	9.1%	・外出企画や制作はもちろん通常の時でも 色々と工作をしてくれていて、本当に楽し く関わらせてもらっています。	・活動プログラムが固定化しないよう に、職員間でアイデアを出し合いながら 活動の提供に努めたい。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと 活動する機会がありますか。（放課後児童クラブや児童館等 に通っているお子さんは「はい」に○を付けてください）	69.7%	9.1%	12.1%	9.1%	・部活動	
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者 負担等（重要事項説明書等の説明）について丁寧な説明があ りましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・ トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機 会等が行われていますか。	72.7%	9.1%	3.0%	15.2%	・知らないだけかもしれません。	・情報の提供を十分に出来るように「き りんだより」を活用し発信していく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や 発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	90.9%	6.1%	0.0%	3.0%		
	16 定期的に、相談や子育てに関する助言等の支援が行われてい ますか。	84.8%	9.1%	0.0%	6.1%	・面談をしてくださるので有難いです。	・定期的に面談を行えるように
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	90.9%	3.0%	0.0%	6.1%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護 者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされ ているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、 きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょう だいへの支援がされていますか。	42.4%	24.2%	12.1%	21.2%	・知らないだけかもしれません。	・保護者同士の交流の機会が設けられる 場の提供が出来るように、法人と協議し ていきたい。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整 備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような 場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした 際に迅速かつ適切に対応されていますか。	84.8%	6.1%	0.0%	9.1%	・丁寧に話を聞いてくれます。いつもあり がとうございます。	・お子さまやご家族からの相談や申入れ に対しては、適切に対応できるように職 員一同心掛けるようにしている。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がな されていると思いますか。	90.9%	3.0%	0.0%	6.1%		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等（きりんだよりやイン スタグラム等）で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報 や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発 信されていますか。	97.0%	0.0%	0.0%	3.0%	・きりんだよりをとでも楽しみにしていま す。	・きりんだよりなどを活用して、教室で の活動を引き続き発信していく。
非常 時等	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93.9%	3.0%	0.0%	3.0%	・氏名ではなく、ニックネームで呼名をし てくれているので、そのような細かな配慮 も有難いです。	・職員間で共有理解しながら、個人情報 の取り扱いには十分に配慮していくよう 引き続き努めていく。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、 防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護 者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練 が実施されていますか。	97.0%	0.0%	0.0%	3.0%		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練が行われていますか。	93.9%	3.0%	0.0%	3.0%	・避難訓練も定期的にしていただいているよ うなので、安心して通所出来ています。	

の 対 心	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	93.9%	3.0%	0.0%	3.0%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	93.9%	3.0%	0.0%	3.0%		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	97.0%	3.0%	0.0%	0.0%		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	97.0%	3.0%	0.0%	0.0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	87.9%	9.1%	0.0%	3.0%		

事業所名 きりん教室なると 公表日 令和8年4月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83.3%	16.7%	・子どもたちが、ゆとりを持って活動できるように配慮している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83.3%	16.7%	・職員同士でスケジュールを確認して配置の確認を行っている。	・職員間で、情報交換を細かく行うようにする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	91.7%	8.3%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	91.7%	8.3%		・清潔に保っているが、毎日の整理整頓を心掛けるようにする。 ・見えないスペースも整えていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	91.7%	8.3%		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	・その都度説明できるように職員間での共有を図っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%		
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%		
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	91.7%	8.3%	・セッション前に必ず確認するように心掛けている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%		
	16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	91.7%	8.3%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%		
	24	放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	91.7%	8.3%			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	91.7%	8.3%			
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	91.7%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100.0%	0.0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.0%	0.0%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100.0%	0.0%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50.0%	50.0%		
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	91.7%	8.3%		・協議会参加報告会をするなどしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%	0.0%		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%		
	37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%		
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%		
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	66.7%	33.3%		・今後の対応について、職員間で話し合っていきたい。
	41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75.0%	25.0%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	91.7%	8.3%		・事前確認を継続し、全体での共有に十分に時間をとるよう努めたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	100.0%	0.0%			